

はじめに

2023年、イスラエルで戦争が起きました。

——ハマス、イスラエルへミサイル発射！

——イスラエル、報復としてガザを空爆！

——イスラエル、ヒズボラに先制攻撃！

そして、年が明けて2024年になっても戦争は収まる気配を見せず、2025年になってようやく停戦協議に入ったものの予断を許さず。

たとえここで一時的な停戦が成ったところで、ふたたび再燃することは間違いない、今後も戦争はつづくことでしょう。

こうして、将来「歴史教科書」に載るであろう重大なイスラーム関連の事件・出来事が日々ニュースとして耳に入ってきますが、そうしたニュースに対して、「かわいそう」「話し合えばいいのに」「戦争反対！」などという発言を聞くたびに「歴史に疎い」ということが如何に罪深いことかということを感じさせられます。

中東問題というのは、そんな安っぽい言葉で片付けられるようなものではない、おそろしく根深い問題を抱えているのです。

また、それとは逆に、「地球の裏側で起こっていることなど関係ない」などと思^{なか}う勿^れ、我々日本への影響も大きく、その動向・本質を理解することはとても大切なことです。

しかし、こうしたニュースの本質を正しく理解できている人は残念ながらほとんどいません。

なとなれば、ひとつひとつのニュース記事に対してYouTube動画を見て“理解できたような気分”になれたとしても、そうした“付^{つけ}焼^{やき}刃^ばの知識”ではほんとうに理解できることはけっしてないためです。

国際問題の本質を真に理解・認識するためには、どうしても“広範な歴史理解”が絶対必須条件になりますが、これがなかなかハードルが高い。

特にイスラーム関連の国際問題は、我々日本人とは隔絶したムスリムの世界観・宗教観・価値観・行動原理・社会・文化を正しく理解しなければなりません

が、残念ながら、「イスラーム」というのは我々日本人にはたいへん馴染みが薄いうえ、彼ら^{ムスリム}の世界観は我々のそれとは隔絶していることがハードルをより高いものにしてしまっています。

では、どうすればよいか。

そこで、本『世界史劇場』^{シリーズ}叢書「イスラーム篇」の出番です。

すでにここまで「4巻」を世に送り出してきました。

「第1巻(イスラーム世界の起源)」ではその創生期(7～12世紀)、

「第2巻(イスラーム三國志)」ではその隆盛期(～17世紀)、

「第3巻(侵蝕されるイスラーム)」ではその衰退期(～19世紀)、

「第4巻(オスマン帝国の滅亡)」ではその解体期(～1939年)

——を、他のどの解説書よりも詳しく、にもかわらずどこよりも易しく解説してまいりました。

そしていよいよその「第5巻」では第二次世界大戦が勃発した1939年以降、現在に至るまでのイスラーム史を解説いたします。

一度読んだだけではなかなか頭に入ってきませんので、本書を何度も読み返して反芻^{はんすう}したのち、今一度、イスラームの国際ニュースに触れてみてください。

さすれば、今までまったくわからなかった国際ニュースが深い歴史理解を背景として、その動きが手に取るようにわかるようになるでしょう。

なお、本書の「地図パネル」のカラー版を入手ご希望の方は、「世界史ドットコム」サイトからお求めいただけます。

2026年 1月

